

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

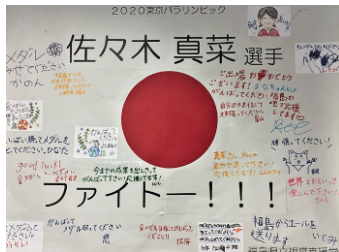
事業実施報告書

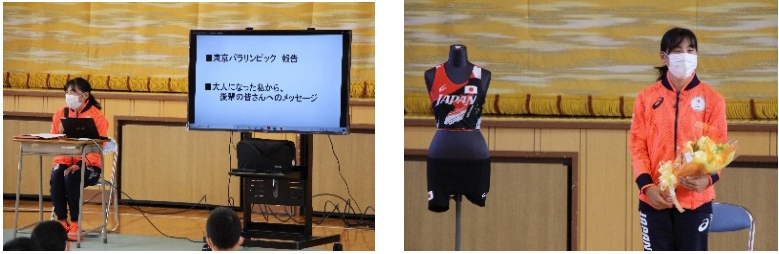
- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福島県】

学校名【福島県立視覚支援学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ V （複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	小学部 5名 中学部 6名 高等部 17名 聴覚福島校小学部 4名 教職員 25名 計 57名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育科) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	ブラインドスポーツをとおして、一人一人に応じたスポーツを楽しむ心の育成を図り、主体的にスポーツに取り組むことができる。
5 取組内容	1 これまでのオリ・パラ教育と本校生徒の聖火ランナー紹介 2 出場記念看板・応援メッセージ作成、放映時間の紹介など 3 テレビでの観戦と応援 3 講演「大人になった私から、後輩の皆さんへのメッセージ」 4 実技指導（陸上競技）及び質問コーナー 5 ホームページ作成 6 事後学習



	
6 主な成果	<p>4年間のオリンピック・パラリンピック教育推進事業をとおして、本校生徒のパラリンピックに対する興味関心を学校全体で高めることができた。2020パラリンピック聖火ランナーでは、本校生徒が代表ランナーとして参加することができた。また、コロナ禍での事業実施の中、新しい様式等を工夫し参加者1人1人が感染対策に気を配り、一致団結してパラリンピックが成功するよう応援できた。体育や部活においては、よりスポーツに対する楽しみ方について考えたり、自己目標をもったりすることで、意欲的に活動することができた。陸上部生徒が参加した大会では、2選手が大会新記録につなげることができた。本事業をとおして、テーマであるスポーツに対する興味関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成が十分図られた。</p>
7実践において工夫した点(事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの3回実施した、オリンピック・パラリンピック教育推進事業や本校生徒の聖火ランナーの紹介する機会を設けたこと。 ・パラリンピックを目指す本校卒業生を、講師として招いたこと。 ・2020東京パラリンピック大会前に応援メッセージの作成、競技開始時間の紹介、横断幕等を作成したこと。 ・講演前に、質問事項を募集したこと。 ・講演内に、実技指導を取り入れたこと。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・予算内での講師依頼や日程調整が大変であった。 ・コロナ禍での感染症対策が大変であった。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生のパラリンピック出場に向けて、感染症対策等を工夫し、継続や発展することができるように検討する。